

人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進				【基本方針2】地域の特色を生かし 価値を高める農業の推進		【基本方針3】活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進				
	R7重点 事業	7_羽黒山スギ並木 保全計画策定事業	9_史跡松ヶ岡青空 マルシェ支援事業	R7重点 事業	10_太陽に輝くひまわり畑 創出支援事業	R7重点 事業	11_月山高原「黄金色 の麦畑」創出事業	12_広瀬さ行ってみがプロジェクト支援事業	13_羽黒地域おしごと みつけた事業	14_羽黒地域ふらっと いっぱい事業
事業期間	R5～		R6～		R7新設		R6～		R7新設	
R6までの 取組状況	❖ <u>羽黒山杉並木継承のための持続 可能な保全活動の促進</u> ・活動報告会 （魅力発信協講演会と共催） ・先進地視察調査 （富士山、吉野山、高野山） ・北海道大学とのオンライン研究 会		❖ <u>松ヶ岡が主体的に行う事業の支援</u> ❖ <u>農観連携による産直運営等の検討</u> ・4/13、14桜まつり同時開催 来場者6,500人。 ・8/3夕市開催 来場者2,500人。 ・9/28、29日松ヶ岡クラフトフェス 同時開催 来場者8,500人。				❖ <u>月山高原エリアの認知度向上</u> ❖ <u>月山高原エリア畑作地における輪作体系の 確立</u> ・パッケージシール作成 ・ホームページでの情報発信 ・試食イベントの実施 ・小麦加工品をふるさと納税返礼品登録 ・東京・新麦コレクションでの情報発信 ・「月山の粉雪」商標登録 ・そうめん・小麦茶など庄内管内の郵便局 で販売			
事業評価	・先進地視察調査の報告も踏まえ 検討した結果来訪者から任意の 協力金を募りそれを徴収管理す る公益的な新組織を設立し手向 らしいしくみづくりを進めてい くことに合意が図られた。 ・活動報告会により、地域住民の 意識の醸成が図られ、協力金を 徴収し財源に充てることについ ても概ね賛同を得られた。		・松ヶ岡開墾場での各種イベントと 同時開催のマルシェの認知度は向 上し来場者も増えている。 ・マルシェ本来の目的である、農産 物や加工品の出店者が少なく、今 後定期的なマルシェの開催に向け 出店者確保が大きな課題である。				・小麦の生産数量は令和5年度の70tから76 t へ増加し、また小麦作付面積は29.55ha （令和5年度）から35.39haへ拡大しており 順調に推移している。 ・ふるさと納税の返礼品登録、「月山の粉雪」 の商標登録など販売促進活動も効果的に実 施されている。		・子供たちが、地元羽黒地域の事 業者から学ぶとともに将来への 期待の言葉をかけていただき、 地域、職業への理解、関心を深 めた。 ・参加者数の拡大、小学校との連 携が課題。	
R7 取組状況	・7月 啓発動画配信 ・8/23 シンポジウム （協定締結式と同日開催） ・ビジョン・アクションプランの策定		・各イベント開催時に同時開催で青 空マルシェを開催する。（R7は4 回の開催を計画） ・4/12、13桜まつり同時開催 来場者6,000人。 ・8/3桃市（青空マルシェ開催）。 ・9/27、28クラフトフェス同時開催 で秋の収穫祭マルシェ開催予定。 ・1月下旬雪まつり同時開催でのマ ルシェ開催予定。		❖ <u>月山高原エリア活性化事業実行委員会 が主体的に行う事業の支援</u> ❖ <u>異なる地域の課題解決による「ひまわ り畑」の再生と誘客</u> ・白鷹町との連携による「ブラックバス 魚粉肥料」の活用による満開のひまわ り畑創出。 ・鶴岡高専学生の協力による写真撮影 スポットの整備。 ・ひまわり畑フォトコンテストの開催。		・製品紹介イベント 6/9 実施 飲食、製パン、製菓関係者向けの講演会、 試食イベントを開催した。 ・パッケージシール作成 ・小麦加工品をふるさと納税返礼品登録 ・東京・新麦コレクションでの情報発信 などの取り組みにより、販売量数量の 拡大につながる取り組みを実施する。		❖ <u>広瀬地区の若者による地域の 魅力発信事業への支援</u> 地域内外の交流を深める きっかけとなる地域の魅 力を発信するデジタルマッ プを作成、運用するもの。 ・情報収集・取材：通年 ・ホームページの開設：10月 予定 ・デジタル普及のための講習 会：1月以降予定	
R7予算額 (千円)	1, 750		600		966		665		290	
事業写真										
	活動報告会		桜まつり青空マルシェ		月山高原ひまわり畑		月山を背景とする小麦畑		事業に取組むVamos Hirose	
									事業所訪問	
									寄せ植えプランター作り	